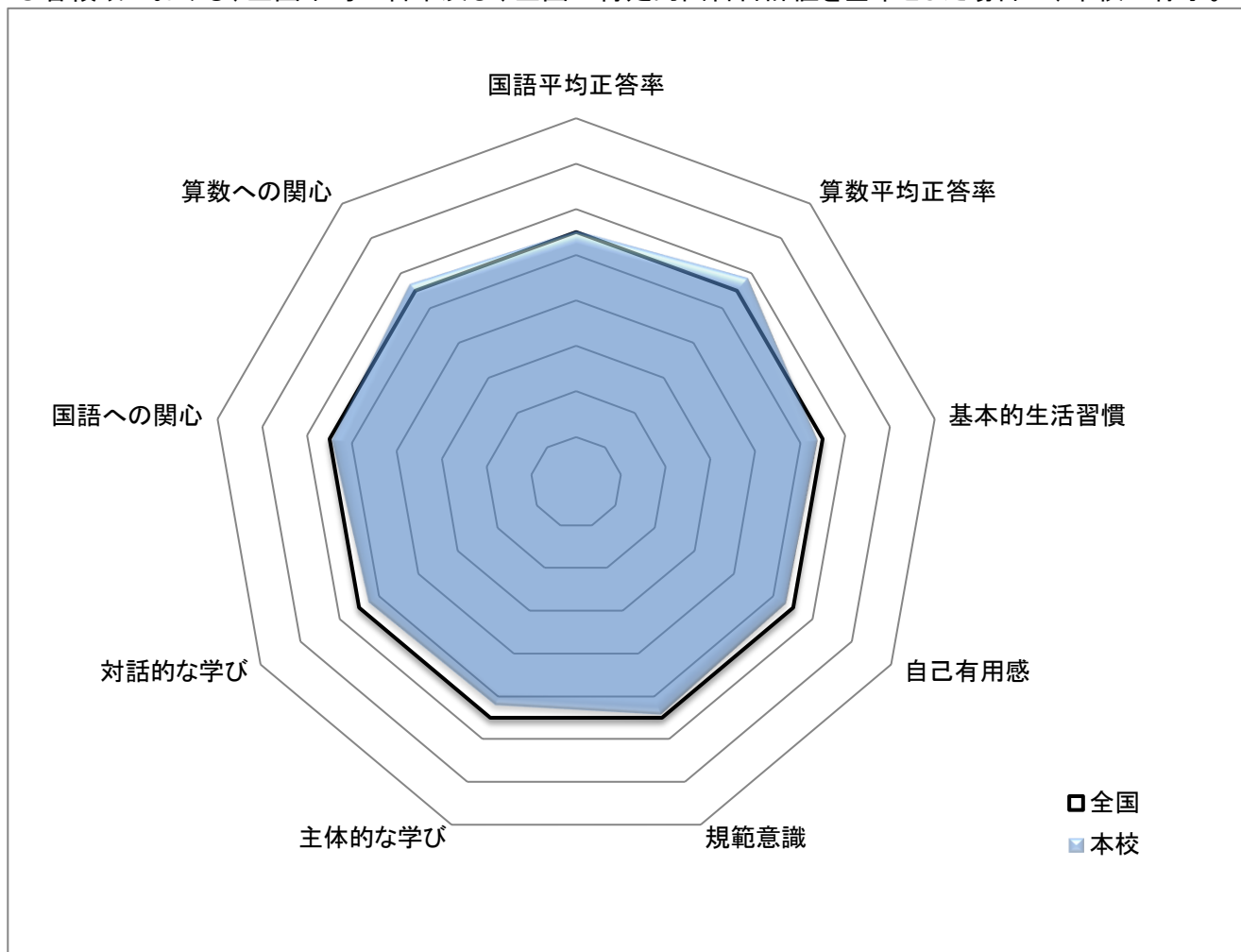


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・早寝、早起き、朝ご飯などの基本的な生活習慣は身に付いている児童が多い。
- ・「自分には、よいところがあると思うか」「将来の夢や目標を持っているか」という質問に対して、全国よりも5ポイント程度下回っている。
- ・主体的な学びについては、「当てはまる」と回答している割合は、全国よりも数値が高いが、「どちらかという当てはまらない」と感じている割合がそれを上回っていることから、個人差があることが見受けられる。
- ・対話的な学びについては、学級活動での話し合いを通じて互いを認めたり、自分が努力すべきことを決めたりする活動が十分ではなかったことが考えられる。

《授業改善のポイント》

- ・主体的に学習に向かおうとする児童の割合は多いので、全体を引き上げていけるような雰囲気作りが必要である。そのためには、自分の意見を友達に伝え、互いに考えを深めたり、互いのよさを生かした解決方法を決めたり、自分のがんばることを一緒になって考えたりする活動を大切にしていこう。
- ・国語に関しては、「将来、社会に出た時に役に立つ」と感じられるように、「知的活動の基盤」「感性・情緒等の基盤」「コミュニケーション能力の基盤」となっていることを実感させられるような工夫が必要である。
- ・算数に関しては、「勉強は大切だ」と感じられるように、児童にとって身近な場面と結び付けて考えさせるような工夫が必要である。

《チャートの特徴》

- ・全国の結果を1としてみた時に、平均的な様子が見て取れる。
- ・算数への関心、正答率については、全国の肯定的回答合計値を上回っている。
- ・主体的、対話的な学びに関する項目に関して、全国の結果より少し下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・基本的な生活習慣は、ご家庭の協力なくして改善はしません。今後も子供たちの成長を温かく見守っていただきたいです。
- ・子供たちの規範意識は、近く大人の姿を見て身に付くものです。大人が「困っている人がいたらすすんで声をかける」「いじめはいけないこと」と範を示していただけると子供たちはそれを真似します。
- ・子供たちのよさやがんばる姿を見付け、たくさん褒めてください。次もがんばろうとする意欲につながります。